

匿名・流動型犯罪(強盗)対策について

地域の防犯力を高めよう!

匿名・流動型犯罪とは、SNSや求人サイトで集めたメンバーなどを実行役に、詐欺や強盗などさまざまな犯罪を繰り返す新たな犯罪形態です。



1 前兆(不審な電話や訪問に注意!)

【1】犯人は、さまざまな業者を装って、自宅に訪問(下見)をする。

【2】個人情報聞き出す電話、SNSなどがあつたら、むやみに家族構成や自分の資産状況を教えない。

※指示役が実行者である強盗犯人に、スマホで犯行方法を指示していることから、現場の下見は必ずやっています。

2 防犯グッズなどを活用し抵抗力を高める



防犯対策として、窓や玄関に補助鍵を追加、防犯カメラなどの防犯機器を設置する。

また、窓から侵入するケースが多いことから、窓ガラスを割れにくい強化ガラスに交換、窓ガラスに防犯フィルムを貼ったり、アラームを取り付ける。

3 被害に備えて

1階窓から室内に侵入されるケースが多いことから、窓からできるだけ離れた場所を寝室にして、通報する時間を稼ぐ(2階建ての場合は2階を寝室にする)。

また、すぐ通報できるようにスマホは枕元に置いておく。



△ 1番大事なこと △

万一に備え、自治会で深夜早朝に近所で大きな音がしたら、躊躇することなく、110番通報することなどを事前に話し合いで決めておく。

住民一人ひとりが防犯意識を持つことが大切です。



問い合わせ先

酒々井町役場暮らし安全協働課危機管理室

043(496)1171(内線)212・216